

有新有学



一般入試 行われました

2月14日(火)に有斗高校で一般入試が行われました。

思い返せば1年前、私も有斗高校を受験しました。スポーツが盛んな有斗高校で新たなことにチャレンジしたいという思いで高校選びをしました。多くの中学生は、「受験」が人生で初めての経験だと思えますが、私も入試の当日は、不安と緊張でいっぱいだったのを覚えています。試験中は、周りの人達が問題をスラスラと解いているように感じて、自分が解いた解答が全て間違っているように感じたりしましたが、試験を終えて友達と話をしていると自然に気持ちが落ち着いていました。面接試験では、担任の先生や学年団の先生、進路の先生が丁寧に指導して下さいのおかげで、志望動機や得意教科・苦手教科、将来の目標に関する質問に上手く答えることができました。中学校の先生方にはとても感謝しています。そして、合格発表の際は、自宅に合格通知が届いたので、緊張しながら両親と一緒に開封をしました。「合格」の文字を見てとても嬉しかった記憶を思い出します。

高校生になることは、大人への一歩です。中学生の頃よりも自分たちで決断しなければならぬ事が増えるのでその分責任も増しますが、様々なことにチャレンジできるということはとても良い経験です。これから公立高校の受験を控えている中学生の皆さんも多いと思いますので、精一杯皆さんの力を出して頑張ってください！応援しています！

(1年 相馬)



2年生 「性に関する講話」

2月3日(金)2年生を対象に「性に関する講話」を行いました。図書館人權擁護委員の安藤さんより現在問題となっていることや事例の映像を見ながら色々とお話していただきました。最後に実際に起きたデートDVの事例を生徒同士で再現しました。クラスの友達が実演してくれたので、その場面を見ているようであることが得られました。近年は、男性の被害も多くなっていることから私たちもする側・される側の両面からしっかりと考えて行動しなくてはならないと改めて思いました。今回の講話で特に印象に残ったことは、無意識で相手を傷つけてしまっている人が多くいるという事です。若い世代の交際関係によるデートDVも増えており、このようなことを無くすためには、お互いを尊重し理解し合って良好な関係を築く事が重要だと思いました。SNSが私たちの生活の一部となっている中、実際にSNSの使用によるトラブルを経験した友人もいると聞いたことがあります。また、デートの際に男性がお金を支払わないといけない雰囲気であったことがあった人もいました。

現代の社会は多様化していると私は考えています。性別に関係なく一人ひとりが尊重され、自分らしく活躍し生活できる環境づくり、そしてお互いの良い所を活かして共存していくことを考えていく力を育てていくことが大切なのではないかと考えます。

(2年 廣島)



2月 節分

今月は2月ということで、

節分について書きたいと思います。節分といえど『鬼』です。幼稚園に通っていた時、鬼が襲ってきたのを鮮明に覚えています。まだ幼かったので恐怖でしたが、今考えると何が怖かったのかなと思います。自分が小さいからこそ鬼の大きさや強面の顔が怖かったのでしょう。成長して高校生になった今、幼い頃抱いていた「怖い」という気持ちは将来の自分に対しての不安や日々の勉強の結果、部活内でどんな役割を果たしているかという不安定な気持ちの意味としての「怖い」に変わったと日々感じています。しかし、そんな自分の成長も認めてあげながら、不安を乗り越えて高校生という短い期間の中で精進していきたいです。今の私たちの世代だと妖怪ウォッチの鬼や鬼滅の刃の鬼が身近なものではないでしょうか。本来、節分の意味は厄を払い新年の幸せを願うということだそうです。私たちの生活は、未だコロナウイルスやインフルエンザの脅威にさらされていますので、厄を払って新年度の学校生活に弾みをつけていきましょう。(1年 長井)



2月に行われた学校行事

- ◇ 2月3日(金) 性に関する講話
- ◇ 2月14日(火) 15日(水) 一般入試(生徒自宅研修)
- ◇ 2月28日(火) 3年卒業式予行練習